

米價のバリエーション方式に関する質問主意書

右の質問主意書を国会法第七十四條によつて提出する。

昭和二十四年五月七日

太田 敏 兄

参議院議長 松 平 恒 雄 殿

米價のバリタイ方式に關する質問主意書

彙にわたたくしは、米價のバリタイ方式による計算について、主としてシェーレーの問題を取上げて質問(昭和二十四年三月十九日質問第三十四号)した。

すなわちまず、基準年度においてシェーレーが、存在していたか否かを問うたのであつたが、政府の答弁は、「昭和九年乃至昭和十一年は昭和初年の經濟恐慌も一應おさまつて景氣は恢復期にあり、又日本が戰爭状態に入る前の年次でもあり、我々が過去において日本經濟或は日本の農業經濟が比較的安定していた年を求めるとすれば、この時期が最も適當と考へている」と、のみで殊更わたたくしが聞かんとした肝心な問題の焦点を巧みに外している。

故にわたたくしは、教府が、日本經濟が最も安定していた年であるという昭和九年或は十一年においてすら、なお且つ農産物價格と農村必需品(工業品)價格の間にシェーレーが生じている事實を、數字を挙げて指摘しよう。

すなわち、第一表及び第一圖に示す如く、昭和六年を一〇〇とする物價指數によつてみれば、昭和九年一月乃至十一月には農産物價と農村必需品價格との間に、相當の價格差があつたことが窺われる。また第二表及び第二圖は大正十年中の物價指數の動きを示したものであるが、これによつてみても、兩者の價格指數は、なお若干のシェーレーの生じていることを表わしている。

殊に、第一表は農林省統計によりたるものである。政府はかかるシェーレーの事實を、米價のバリテ

イー計算において如何に取扱わんとするのであるか、わたくしはこの点について重ねて答弁を要求する。
左の添附書類は印刷を略す。

第一表 昭和九年のシエーレー及び第一回昭和九年のシエーレー

第二表 昭和十年のシエーレー及び第二回昭和十年のシエーレー

参考資料(1、2、3、4、5)